

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2016年3月18日

No.13

## 2016JR総連春闘妥結!

平成14年度以降入社した社員に1号俸加算及び  
55歳以上の組合員は基本給に3,000円加算を勝ち取る!

### <申第6号 妥結内容>

- 定期昇給4号俸実施(平均5,927円)
- 55歳以上の社員は基本給に3,000円の加算(昨年より1500円増)
- 初任給を1号俸引き上げ
- 契約・臨時社員の基本給を定期昇給分(2.20%)引き上げ
- 嘱託社員調整手当1,000円増額(基本給14万の社員には2,000円増額)

### 申第7号 諸要求は以下の項目について前進!

- ・平成14年度以降採用された組合員について1号俸引き上げ
- ・通勤手当の支給額の上限を引き上げ
- ・構内手当の業務対象にブレーキ試験、コンテナ積付検査を追加
- ・旅費規程の家財運送料30%引き上げ
- ・インフルエンザ予防接種にかかる補助を4,000円に引き上げ

### 16春闘 賃上げ交渉最終報告

中央本部は断続的に折衝・団体交渉を行い、本日17時00分から最終交渉に臨みました。席上会社は①平成28年度については定期昇給4号俸のみ実施する。②55歳以上の社員について基本給に3,000円を加算する。③契約・臨時社員については定昇相当分(2.20%)を基本給に加算する。また諸要求については、①初任給を1号俸引き上げる。②平成14年度以降に採用された社員に1号俸引き上げる。③通勤手当の上限を引き上げる。④構内手当の対象業務にブレーキ試験、コンテナ積付検査を追加する。⑤インフルエンザ予防接種補助額を4,000円に引き上げる。⑥嘱託社員調整手当を増額することを明らかにしました。

会社の回答に対して中央本部は、①申第6号、第7号の回答が出されたが、申第7号の諸要求の詳細については、別途整理していく。②今春闘は、来年JR貨物発足30年を迎え、鉄道事業部門の黒字化が求められる中で16年連続バアゼロを打開するために、バア実現をめざしてきた。③初任給引き上げに伴う賃金改定で、社員間で格差が出た。会社には、社員間の格差の改善に向けた努力を要請する。④来年度鉄道事業部門の黒字化をめざす中で、会社は、あまり内向的な考えにならずに荷主、通運、国土交通省と連携して収入拡大に努めるべきである。安全確立を前提

に労働組合の立場から労働組合として、収入拡大に向けて努力していくことを表明し、今春闘を妥結することとしました。

組合員の皆さん！申し入れ以降、組合員が一丸となり最後までベアの実現と、人材確保のための初任給の増額、人材確保、格差是正、55歳以上の賃上げ、嘱託社員や臨時・契約社員の待遇改善、諸要求の改善に向けてたたかいを創造的に各職場からつくり出してきました。特に3月15日の全国統一職場集会では、全国約60機関において集会や座談会を開催し、これまで以上に中央本部・地本・支部・分会が一体となって推し進めてきました。取り組みの結果、諸要求の前進を勝ち取り、優秀な人材確保に向けて初任給の1号俸引き上げ、若年退職の歯止めとして平成14年入社以降の社員に対して、1号俸加算という実質的な賃上げを実現することができました。

これからも組合員の職場と仕事と生活を守ることを通じて、JR貨物の将来を確実なものとするため、JR貨物改革の闘いを通じてたしろかおる応援プロジェクトの取り組みを推し進めることとし、中央本部はその最先頭で闘うことを改めて決意することを明らかにし、今16春闘交渉の最終報告とします。

以 上